

地域子育て支援センターの利用を

5 保育園で実施

園庭開放や育児相談、通信を発行

地域子育て支援センターは市内の5保育園にあり、保育所に通っていない子どもを対象に、保育士が遊びの指導をしています。

センターでは、園や園庭の開放、制作遊び、親子クッキング、季節の行事などを、親子や参加者同士で楽しめます。また、育児に関する相談を受けたり、各センターごとに通信を毎月発行したりしています。通信にある行事の案内などを見て、気軽に利用してみてください。

休日に乳幼児を家庭で保育できない場合の休日保育や、一時的に家庭で保育が困難な場合の一時保育の制度もあります。利用には、事前の申し込みと料金が必要です。

問い合わせ ことも課児童保育係 (☎028265)

●保育サービスの一覧 (マークのある場所が実施園)

場 所	所在地・電話番号	休日保育	一時保育	支援センター
中央保育所	真壁737-3 ☎92-0975			
ひかり保育園	上林763-2 ☎92-4889			
第二ひかり保育園	真壁162-1 ☎92-4881			
すみれ保育園	井手979-1 ☎92-3832			
みどり保育園	総社1295-14 ☎93-6057			
山手保育園	岡谷201-3 ☎93-4858			



9月3日、国際ソロプチミスト総社から車両2台が寄贈された。それぞれ車体の両側面に大きく「子育て王国そうじゃ」のロゴが張られている

「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会が募集していた「子育て王国そうじゃ」のロゴが審査の結果、19点の応募作品のなかから、岡山県立大学デザイン学部3年の矢浦有理江さん(岡山市)の作品に決まりました。

ロゴは、キャラクターと文字が一体となったもの。ネズミをモチーフに、おむつで乳児を、王冠で王国をイメージさせる作品です。色や形、コンセプトが明快で、視認性が高く、物語性が素晴らしいところが評価されました。

市では、広報紙をはじめ、ホームページ、市の封筒、名刺などで使っていきます。

国際ソロプチミスト総社から9月3日に寄贈された8人乗り普通車と軽四輪自動車の車体にもロゴを張り、市内外

に「子育て王国そうじゃ」をPRしていきます。

特に、ボンネットと左右の後部座席のドアにロゴが張られた軽四輪自動車は、生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」などの子育て事業で、優先的に使用していきます。

市長は「さまざまな場所でこのロゴを使い、子育て王国そうじゃをPRし、気運を盛り上げていきたい」と、話しています。

矢浦さん以外の受賞者は、次のとおりです。

▼優秀賞 小原俊秀さん(総社)、小野宏輝さん(倉敷市)

▼審査員特別賞 塩尻海琴ちゃん(井手)

問い合わせ ことも課子育て支援係 (☎028268)



8月26日、市長室で行われた表彰式で、清水男「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会会長から、賞状と副賞を授与される矢浦さんら4人の受賞者

「子育て王国そうじゃ」のロゴ決定  
矢浦有理江さんのデザインに  
ロゴを張った車で「こんにちは、赤ちゃん」

